

大分大学 経済学部 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

経済学部 【学士（経済学）】

		専門的知識・技能の活用	コミュニケーション能力	創造的問題解決力	社会的責務と倫理	地域発展・人類福祉への貢献	生涯学習力	
ディプロマ・ポリシー	大分大学経済学部では、学生が学士課程の修了時に、以下の資質や能力を備えるべきものとします。	経済学・経営学を中心とした社会科学の専門分野における基礎知識や方法論を身につけているとともに、主体的に学ぶ姿勢を生涯にわたり継続しつつ、それらを自らのキャリアデザインに活かすことができる。	人類の幅広い知を学ぶことによって、多様な文化や価値観を理解し、尊重するとともに、社会生活の多様な場面で、自己を表現し、他者との相互理解を図るためのコミュニケーション能力や、国際化・情報化に対応できる能力を有している。	修得した知識と能力を活用して、地域および国際経済社会の諸課題を社会との繋がりの中で自ら発見し、的確に分析できるとともに、その解決策を所属する組織や社会に対して説得的に提示できる。	人類の幅広い知を学ぶことによって、多様な文化や価値観を理解し、尊重するとともに、社会生活の多様な場面で、自己を表現し、他者との相互理解を図るためのコミュニケーション能力や、国際化・情報化に対応できる能力を有している。	修得した知識と能力を活用して、地域および国際経済社会の諸課題を社会との繋がりの中で自ら発見し、的確に分析できるとともに、その解決策を所属する組織や社会に対して説得的に提示できる。	経済学・経営学を中心とした社会科学の専門分野における基礎知識や方法論を身につけているとともに、主体的に学ぶ姿勢を生涯にわたり継続しつつ、それらを自らのキャリアデザインに活かすことができる。	
カリキュラム・ポリシー	大分大学経済学部では、ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために、以下のように、基礎から応用に至る体系的な教育を行います。	教育課程の編成と教育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学科配属は2年次とし、初年次向けの専門基礎科目や、学科の専門学習の土台となる学科基盤科目を含む主専門科目、および他学科の開講科目のうち所属学科での学習に関連性が強い科目を副専門科目として置く。 ・専門基礎科目と専門教育科目の橋渡しを行う専門教育セミナー科目、および分析力・思考力・表現力を高める少人数の演習・卒業論文科目を必修とする。 	専門性を発揮する基盤となる幅広い教養力を身につけるための科目や、国際化・情報化に対応した能力育成のための科目を置く。	専門基礎科目と専門教育科目の橋渡しを行う専門教育セミナー科目、および分析力・思考力・表現力を高める少人数の演習・卒業論文科目を必修とする。	実社会での経験豊かな社会人による講義科目や、国際通用性・地域課題探究能力等を高める科目など、学科を超えた幅広い学習を行う学部共通科目を置く。	専門性を発揮する基盤となる幅広い教養力を身につけるための科目や、国際化・情報化に対応した能力育成のための科目を置く。	
		教育方法	能動的・主体的に学修し、深い専門性を身につけるために、必修科目の少人数によるセミナー科目・演習科目を4年間のすべての学期で開講し、講義形式による学びとそれらを連動させる。	幅広い教養を身につけ、国際化や情報化に対応した能力を育むため、4年間にわたって教養科目を履修できるよう配置し、特にリテラシーを高める科目においては双方向性を確保した手法を取り入れて実施する。	課題の発見や解決力の育成を目指して全学科に課題解決型の科目を配置し、外部の組織や機関と協働してアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実施する。	幅広い教養を身につけ、国際化や情報化に対応した能力を育むため、4年間にわたって教養科目を履修できるよう配置し、特にリテラシーを高める科目においては双方向性を確保した手法を取り入れて実施する。	課題の発見や解決力の育成を目指して全学科に課題解決型の科目を配置し、外部の組織や機関と協働してアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実施する。	幅広い教養を身につけ、国際化や情報化に対応した能力を育むため、4年間にわたって教養科目を履修できるよう配置し、特にリテラシーを高める科目においては双方向性を確保した手法を取り入れて実施する。
		学修成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中の質疑応答、課題レポートの執筆内容および期末試験により、学修の到達度を客観的に評価する。 ・教養科目も含め経済学部が担当する科目について受講者の成績評価を教授会で確認する。なお、成績評価に対して学生は異議申し立てすることができる。 ・全学期開始時に全学生に学修ポートフォリオを作成・提出させ指導に活用する。 ・演習については、専門的知識修得のための課題への取り組み及び成果発表等により、客観的に評価する。 ・卒業論文は、審査によって評価する。 ・学部共通科目、課題解決型の科目の単位取得をもって目標に到達したと評価する。 					